

令和2年6月2日

お得意様 各位

ユタカ株式会社

土田 尚彦

次亜塩素酸水に関する報道に対する当社の見解について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

令和2年5月29日に独立行政法人 製品評価技術基盤機構（NITE）より、新型コロナウイルスに対して、次亜塩素酸水については、効果の実証がされておらず、評価中であると発表されました。また、空間噴霧に関して、安全性を評価する根拠がないので、空間噴霧は控えるようにと発表されました。

まず、当社のヒズキ安定型複合塩素製剤は、弱酸性の次亜塩素酸水とは、少し異なり弱アルカリ性の塩素製剤ではありますが、類似している長所（効果）が多々ありますので、この様な文章を作成させて頂いた次第です。

ヒズキ（安定型複合塩素製剤）除菌に関して、下記の不活化試験、安全性試験を行っております。

ウイルス、菌の不活化試験

- ・ノロウイルス（ネコカリシウイルス）＊ファルコバイオシステムズにて
- ・大腸菌、MRSA、白癬菌 ＊京都微生物研究所にて

安全性試験

- ・急性経口毒性試験 ＊東京食品技術研究所にて

消臭試験

消臭剤効力試験 ＊日本食品分析センター（2020年6月検査終了予定）

噴霧による空間除菌について

ヒズキ安定型複合塩素製剤の空間除菌に対する安全性は、人体への安全性を評価する科学的な方法が確立されていないことを事由に「次亜塩素酸水の空間噴霧は控えて」と報道されております。これは pH 値（濃度）の異なる除菌剤を指した報道であり、ヒズキ安定型複合塩素製剤が有害であると誤解を与える表現で報道されました。記事では次亜塩素系の除菌剤全般の噴霧が否定されているような印象を受けますが、外部試験機関においてヒズキ安定型複合塩素製剤の試験を行っており、ウィルスの不活化や安全性を弊社において確認しております。

新型コロナウイルス不活性化について

弊社では現在のところ新型コロナウイルスでの試験ができない状況の為、ヒズキ安定型複合塩素製剤が新型コロナウイルスを不活化できることを言及するものではございません。

弊社のヒズキ安定型複合塩素製剤に関しましては外部試験機関でウィルス不活性化試験、消臭効果試験及び安全性試験を実施しておりますので、ウィルス対策として部分除菌、噴霧器による空間除菌も安心してご使用いただけます。

*ご使用に関しましては用法を正しくご理解の上ご使用下さいませ。

今後とも弊社製品に関しましてご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

敬具